

# 令和4年度地方発明表彰調査表記載事項チェック

調査表は、審査の基礎資料です。正確な審査のためにも、下記ポイントを参照の上、書類作成にご協力ください

## 令和4年度地方発明表彰 調査表 (様式 1)

応募名称は20文字以内です。  
アルファベットにもふりがなを。(例 . C - MOS)

令和4年4月1日時点の年齢をご記入ください。

名簿・賞状等のデータになりますので、会社名や部署名等を省略せず、正確にご記入ください。

発明者等が複数の場合は、残りの人数を記載し、氏名等詳細は様式 - 2 に記入してください。

応募の際は、この欄に記載した共同権利者の応募承諾書が必要です。

係争歴の有無と種別を教えてください。  
応募時点で係争関係にある案件の応募はご遠慮ください。

この発明等に関する表彰歴です。

応募にあたっては、令和4年12月まで本件応募特許(実用新案・意匠)権の維持が必要です。  
また、忘れずに捺印をお願いします。

地方名	都道府県名	地域協会整理番号	整理番号
ふりがな	ちがひ ぼりおこし えーてい せいぎょそうち		
応募発明、考案、意匠の名称	地下茎掘り起こしAT制御装置		国際特許(意匠)分類
公報・記載の発明、考案、意匠の名称	地下茎処理用自動掘削装置		A01D 1/03
出願番号	特許・実用・意匠	26年123456号	平・令 26年 7月24日
登録番号	特許・実用・意匠登録	7654321号	平・令 30年10月8日
発明者、考案者、創作	氏名 発明 太郎		
	性別 男・女 昭・平 37年8月21日生 59歳(令和4年4月1日時点)		
	会社名 〇×株式会社 技術開発部 設備グループ 主任研究員		
	部署、役職名 (備考:元 )		
	会社所在地 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-14		他 2名 別紙I-2に補充
権利者	会社名:〇×株式会社 代表者役職:氏名:代表取締役 特許 太郎		
共同権利者	無・有 会社名:株式会社△製作所 代表者役職:氏名:代表取締役 実用 次郎		
外国特許等の取得(国名・登録番号)	無・有 米国第456789号		
係争歴	無・有 係争種別: 審判( 否定不服、無効) ・ 付与後異議申立 ・ 裁判		
論文(題名記号・号数記号)	無・有 〇〇学会誌Vol.15 平成27年3月28日発行		
応募発明等に係る既往表彰受賞歴	無・有 平成28年度(第30回)△〇工業会主催 △〇技術表紙技術功績賞受賞		
補助金の有無	有		
本問	住所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-14		
発明に係る先	会社名 〇×株式会社 知財管理グループ長		
	部署、役職名		
	氏名 考案 三郎		
	TEL	03-3502-5431	FAX 03-3502-3485
	e-mail shourei@jmi.or.jp		
権利者会社概要(令和4年3月31日現在)	代表者 特許 太郎	資本金 278百万円	従業員数 168名
	年間売上高 12,891百万円		規模 1.中 2.大・中 堅
	主要製品: 農業用機械、コンバイン		産業分類: 農業機械
令和4年12月まで本件応募特許(実用新案・意匠)権を維持いたします。その他募集要項の記載事項を承諾の上、応募いたします。 令和4年3月7日			
(会社名)〇×株式会社			
(責任者役職・氏名)代表取締役 特許 太郎			

## (様式 2)

●共同発明者、考案者、創作	
①	氏名 意匠 四郎
	性別 男・女 昭・平 48年3月16日生 49歳(令和4年4月1日時点)
	会社名 〇×株式会社 技術開発部 設備グループ
	部署、役職名 (備考:元 )
	会社所在地 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-14
②	氏名 商標 五郎
	性別 男・女 昭・平 43年6月7日生 53歳(令和4年4月1日時点)
	会社名 株式会社△製作所 設備部長
	部署、役職名 (備考:元 )
	会社所在地 〒123-4567 千葉県長野市若里1-2-3
③	氏名
	性別 男・女 昭・平 年 月 日生 歳(令和4年4月1日時点)
	会社名 部署、役職名 (備考:元 )
	会社所在地 〒
④	氏名
	性別 男・女 昭・平 年 月 日生 歳(令和4年4月1日時点)
	会社名 部署、役職名 (備考:元 )
	会社所在地 〒

※転職・退職等により、特許、実用新案、意匠の出願時の所属会社と、現在の所属会社異なる場合は、備考欄に出願時の所属会社、部署、役職名を記載して下さい。

●応募発明、考案、意匠に係る本表彰への応募辞退者又は死亡者	
応募辞退者	無・有 氏名: 創作 六郎
死亡者	有 氏名:

様式 - 1 で記載した発明者以外の方を、この様式に記入してください(辞退者・死亡者は除く)。

転職・退職等により、特許・実用新案・意匠の出願時の所属会社と、現在の所属会社異なる場合は、この欄に出願時の所属会社・部署・役職名を記入してください。

発明者が本表彰を辞退する場合、もしくは亡くなっている場合は、その方のお名前をここに記入してください(上欄には記入しないでください)。



整理番号
<p>● 応募発明、考案、意匠の内容 … 以下の項目について、簡潔かつ平易な文章でご説明ください。</p> <p>1) 応募発明等の概要 2) 従来発明等の課題と開発ニーズ 3) 応募発明等の特徴</p> <p style="text-align: right;">※図面もしくは写真を入れてください(必須)。</p>
<p>1) 応募発明等の概要 応募発明等に関して、「従来発明等の課題、応募発明等の開発に至った流れ→応募発明の目的、技術的内容→実施効果」を簡潔に記入してください。</p>
<p>2) 従来発明等の課題と開発ニーズ 上記1)で記入した「従来発明等の課題、応募発明等の開発に至った流れ」について、社会的ニーズもふまえて、より詳細に記入してください。</p>
<p>3) 応募発明等の特徴 上記1)で記入した「応募発明等の目的、技術的内容」について、特に従来発明等の課題をどのように解決したかを明記して、より詳細に記入してください。</p>

〔様式 3〕

原則ページ数は増やさないでください。また、文字の大きさは11ポイント程度としてください。文字を極端に小さくする等の調整は控えてください。

応募発明等に関して、「従来発明等の課題、応募発明等の開発に至った流れ 応募発明の目的、技術的内容 実施効果」を簡潔に記入してください。

上記1)で記入した「従来発明等の課題、応募発明等の開発に至った流れ」について、社会的ニーズもふまえて、より詳細に記入してください。

上記1)で記入した「応募発明等の目的、技術的内容」について、特に従来発明等の課題をどのように解決したかを明記して、より詳細に記入してください。

図面もしくは写真は、発明を理解する上で重要です。方法の発明等図面が存在しない場合を除き、必ず入れてください。様式 - 3内であれば大きさ、位置は問いません。

図面、写真

※様式 I-3内であれば大きさ、位置は問いません。

〔様式 4〕

整理番号																																																																															
● 応募発明、考案、意匠の実施状況、実施効果																																																																															
実施会社名	○×株式会社																																																																														
実施開始年月	平成 27年 7月 1日																																																																														
実施会社と権利者会社の関係	同一																																																																														
製品名	SPXS200「穴掘り君」																																																																														
実施状況一覧表	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">生産高</th> <th colspan="2">販売高</th> <th colspan="2">輸出高</th> <th rowspan="2">国内市場占有率 (%)</th> <th rowspan="2">社内での売上比率 (%)</th> </tr> <tr> <th>数量 (台)</th> <th>金額 (百万円)</th> <th>数量 (台)</th> <th>金額 (百万円)</th> <th>数量 (台)</th> <th>金額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年</td> <td>161</td> <td>190</td> <td>82</td> <td>164</td> <td>36</td> <td>72</td> <td>50</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>185</td> <td>215</td> <td>102</td> <td>204</td> <td>27</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>R 1年</td> <td>153</td> <td>180</td> <td>88</td> <td>176</td> <td>26</td> <td>52</td> <td>50</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>R 2年</td> <td>195</td> <td>230</td> <td>110</td> <td>211</td> <td>29</td> <td>58</td> <td>55</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R 3年</td> <td>199</td> <td>235</td> <td>112</td> <td>215</td> <td>31</td> <td>62</td> <td>58</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>891</td> <td>1050</td> <td>494</td> <td>970</td> <td>149</td> <td>298</td> <td>53.6</td> <td>14.2</td> </tr> <tr> <td>平均単価</td> <td colspan="2">1,178 (千円)</td> <td colspan="2">1,993 (千円)</td> <td colspan="2">2,000 (千円)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	生産高		販売高		輸出高		国内市場占有率 (%)	社内での売上比率 (%)	数量 (台)	金額 (百万円)	数量 (台)	金額 (百万円)	数量 (台)	金額 (百万円)	H29年	161	190	82	164	36	72	50	12	H30年	185	215	102	204	27	54	55	13	R 1年	153	180	88	176	26	52	50	13	R 2年	195	230	110	211	29	58	55	15	R 3年	199	235	112	215	31	62	58	18	合計	891	1050	494	970	149	298	53.6	14.2	平均単価	1,178 (千円)		1,993 (千円)		2,000 (千円)			
	区分		生産高		販売高		輸出高				国内市場占有率 (%)	社内での売上比率 (%)																																																																			
		数量 (台)	金額 (百万円)	数量 (台)	金額 (百万円)	数量 (台)	金額 (百万円)																																																																								
	H29年	161	190	82	164	36	72	50	12																																																																						
	H30年	185	215	102	204	27	54	55	13																																																																						
	R 1年	153	180	88	176	26	52	50	13																																																																						
	R 2年	195	230	110	211	29	58	55	15																																																																						
	R 3年	199	235	112	215	31	62	58	18																																																																						
	合計	891	1050	494	970	149	298	53.6	14.2																																																																						
	平均単価	1,178 (千円)		1,993 (千円)		2,000 (千円)																																																																									
市場占有率の算出根拠 分母は、〇〇工業会発行の統計に基づくAT制御装置の国内総生産量。																																																																															
輸出先	台湾、タイ、シンガポール																																																																														
主眼用途・利用方法	野菜の収穫際において地下茎を掘り起こす機械で搭載する。																																																																														
実施効果	産業性(技術力、経済効果) 社会性(安全性、環境保全等の社会的効果) 国際性(海外への波及効果) 学術性(学識者に対する影響)																																																																														
様式 I-3 1) で記入した「実施効果」について、上記4つ観点に着目しより詳細に記入してください。																																																																															
生産高・販売高・輸出高の推移図(グラフ)																																																																															
掲載発刊年月日、掲載誌紙名、記事タイトル	平成29年4月22日 △〇新聞 「AT制御装置の新時代」																																																																														
備考	実施状況一覧表のR3の数値は見込。																																																																														

実施会社と権利者会社が同じ場合は「同一」と、違う場合はどのような関係か記入してください。(例: ×より にライセンス供与)

各数値の単位を忘れずに記入してください。

市場占有率はできるだけ業界団体等による公表された数値等を分母に用いて計算してください。(データ出典資料名を記載のこと。)

輸出が納品先による二次製品の場合でも、輸出高の欄に数値を記載していただいで結構です。

応募発明の実施効果を、産業性、社会性、国際性、学術性のいずれかの観点から記入してください。複数選択可能です。

新聞等、記事掲載についてはこの欄に掲載年月日、掲載誌(紙)名、記事タイトルを記入してください。

金額をグラフで表現してください。

本書は便宜上、調査表の注意箇所・ポイントを記したものです。各項目の詳細は『地方発明表彰 募集要項』に記載してありますので、作成時は必ずこちらをご確認ください。

また、発明協会ホームページでも記載方法を紹介しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。  
(<http://koueki.jiii.or.jp/>)

お問合せ先 : ・最寄りの各地域発明協会(『募集要項』裏面参照)  
・(公社)発明協会 発明奨励グループ( : 03 - 3502 - 5431 )